

番号	区分	提出された意見の概要（要旨）	意見に対する考え方	修正箇所の有無	該当箇所	修正
1	用語に関する こと	「群馬モデル」という言葉に注釈を付けた方がよいのではないか。	御意見のとおり修正します。	有		本文「群馬モデル」の文言に注釈を追記 「精神科救急情報センターを中心とする3次救急システムや司法関係機関との連携推進による司法精神医療の実施による、精神医療分野に留まらない医療現場と行政・司法等の関係機関が一体となった「社会の安全・安心と人権を守る」ための先進的な取組み」
2		「DPAT」という言葉に注釈を付けた方がよいのではないか。	御意見のとおり修正します。	有		本文「DPAT」の文言に注釈を追記 「Disaster Psychiatric Assistance Team 自然災害や航空機・列車事故、犯罪事件などの集団災害の後、被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う専門的なチーム」
3	プラン全体に 関すること	新型コロナウイルス感染症対策補助金の縮小や更なる物価高騰が懸念されるため期間内黒字化にこだわる必要はないのではないか。	貴重な御意見をいただきありがとうございます。 本計画は県立病院が将来にわたり健全な経営を維持するための計画となっており、持続可能な経営を達成するためにも、期間内の黒字化を目標としています。	無		
4		医師の確保は最優先課題であるため、真剣に取り組むべき。	貴重な御意見をいただきありがとうございます。医師、看護師等の確保、定着に向け、本計画に基づき取組を行います。	無		
5		スマホを利用したDXの推進は是非具体的な業務に取り組んで、群馬方式を確立し、県内の医療機関に広めるくらいの熱量で取り組んでほしい。	貴重な御意見をいただきありがとうございます。 スマホを活用したDXが早期に実現できるよう取り組んでまいります。	無		
6	個別計画に 関すること	心臓血管センターの病床利用率について、専門領域の医療を提供しているため、入院収益を増やして収益を上げることは難しいという面はあるが、さらなる病床削減などの対策も考えるべきではないか。	御意見にありますとおり、病床利用率を向上させることは当院の大きな課題となります。病床利用率の向上及び入院患者数の増加を図るためには、登録医や登録医療機関などの地域との連携を深めるとともに適切なベッドコントロールと入退院支援をしっかり行うことが、最も重要なことと考えております。いただいた御意見も参考としながら、課題解消に向け、これらの取組を着実に実施していきます。	無		
7		心臓血管センターの診療材料費について、診療材料費の比率が高いとされていることから、他の公立・公的病院と連携するなど、経費削減の努力をすべきではないか。	診療材料費の削減については、現在でも共同購入品への切り替えや、県立4病院・群馬大学等と連携した価格交渉、他の公立・公的病院との情報共有等に取り組んでいるところです。いただいた御意見も参考に、さらなる診療材料費の削減につながるよう取組を継続していきます。	無		
8		がんセンターの果たすべき役割に緩和ケアの体制の充実が挙げられているが、取り組むべき課題を記載した方がよいのではないか。	プランの構成上、「(3)果たすべき役割」に「課題」を記載することはなじまないため、課題の表記は省略させていただいておりますが、原案記載のとおり「高度な疼痛緩和医療の提供を含めた緩和ケア診療体制」「地域医療機関等と連携した在宅緩和ケアの提供体制の整備」など、県立病院としての役割を果たしてまいります。	無		

番号	区分	提出された意見の概要（要旨）	意見に対する考え方	修正箇所 の有無	該当箇所	修正
9	個別計画に関する こと	がんセンターの「県立病院としての機能強化」及び「健全な経営」という両項目で、アクションプランとして「病棟・外来機能の見直し」が記載されているが、内容の重複がない方が、より精度の高いプランになるのではないか。	いただいた御意見のとおり両項目に重なること、また病院として特に重点的に検討を進める必要があることから、(4)県立病院としての機能強化、(6)健全な経営に記載しています。	無		
10		がんセンターの個別計画「DPC包括請求への移行促進」という表現について、具体的な内容がイメージしづらいため、「DPC入院日数の適正化」などと変更してはどうか。	貴重な御意見をいただきありがとうございます。 30ページの「DPC包括請求への移行促進」につきましては、既に移行が完了しているため、削除いたします。 一方、56ページ及び71ページにつきましては、いただいた御意見のとおり、いずれも「在院日数の適正化」に修正いたします。	有	・専門病院入院基本料7対1の算定開始、DPC包括請求への移行促進等により入院単価の増加を推し進めた結果 ・DPC包括請求への移行促進や地域連携の強化、新たながん治療にチャレンジすること等により ・「入院収益の向上」については、DPC包括請求への移行促進、新規加算の取得等による診療報酬の適切・確実な取得に継続して取り組むことにより	・専門病院入院基本料7対1の算定開始等により入院単価の増加を推し進めた結果 ・在院日数の適正化や地域連携の強化、新たながん治療にチャレンジすること等により ・「入院収益の向上」については、在院日数の適正化、新規加算の取得等による診療報酬の適切・確実な取得に継続して取り組むことにより
11		がんセンターの個別計画に「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」については発展的に解消されることとなりました。」とあるが、「発展的に解消される」という表現では意味が伝わりづらいのではないか。	令和4年7月21日に厚生労働省で開催された「第14回がん診療連携拠点のあり方に関する検討会」において、地域がん診療連携拠点(高度型)は、「都道府県拠点病院に必須要件として求める要件や、将来的には全ての拠点病院への必須化を求める要件等に再整理すること」や「各都道府県内の拠点病院等の役割分担を議論・整理し、その結果を共有すること」などの取組により発展的に解消するという形で整理されていたところです。いただいた御意見も参考に、本文を修正いたします。	有	令和4年度末をもって「地域がん診療連携拠点病院(高度型)」については発展的に解消されることになりましたが	指定要件の再整理などにより、令和4年度末をもって「地域がん診療連携拠点病院（高度型）」の区分はなくなりましたが
12		がんセンターの病床利用率について、コロナ患者受入れによる影響が大きいと考えられるため、今後の努力に期待したい。	貴重な御意見をいただきありがとうございます。病床利用率の向上に向けて、本計画に基づき、今後も取組を推進します。	無		
13		がんセンターのがん看護専門看護師17人という実績は素晴らしいものであり、是非活動の機会を広げてその成果を他の病院にも示してほしい。	貴重な御意見をいただきありがとうございます。進展する医療技術に対応できるよう、今後も教育と研修の充実に取り組みます。	無		
14		精神医療センターにおいては、児童・思春期への対応、依存症対策で県内医療機関の中核となることを期待する。	貴重な御意見をいただきありがとうございます。群馬県の精神医療の中核を担う病院として更なる機能強化に取り組むとともに、患者の状態像や特性に応じた各医療機関との機能分化や相互連携を強化し、県全域における効率的かつ質の高い医療の確保を図っていきます。	無		
15		小児医療センターでは、危険な状態の妊婦の増加やそれに伴う新生児への危険、医療的ケア児、小児歯科への対応などについてもっと現状を書き込んで、小児医療センター再整備の内容を充実した方がよいのではないか。	小児医療センターの再整備については、現在「小児医療センター再整備マスタープラン」の策定を開始したところです。いただいた御意見も踏まえながら、マスタープランにおいて現状の分析および、新病院に必要な医療機能等について検討を進めます。	無		
16		小児医療センター再整備について、老朽化、狭さが課題となっている。早急に具体的に着手すべきではないか。				